



servicenow.
university

アカデミックプログラム
開催報告

2025年度

実績

参加状況・インターン企業数



**Platform
Owner**



**Business
Process
Analyst**



**Application
Developer**

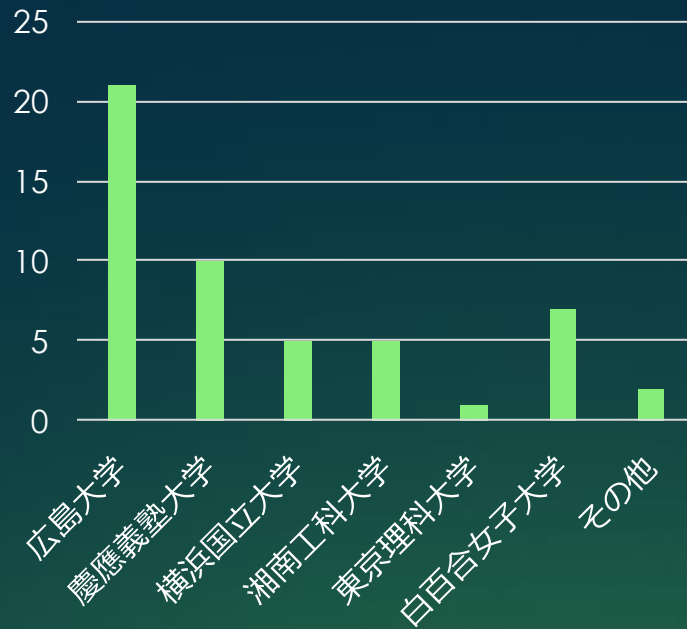


参加者の動向とインターン受入企業

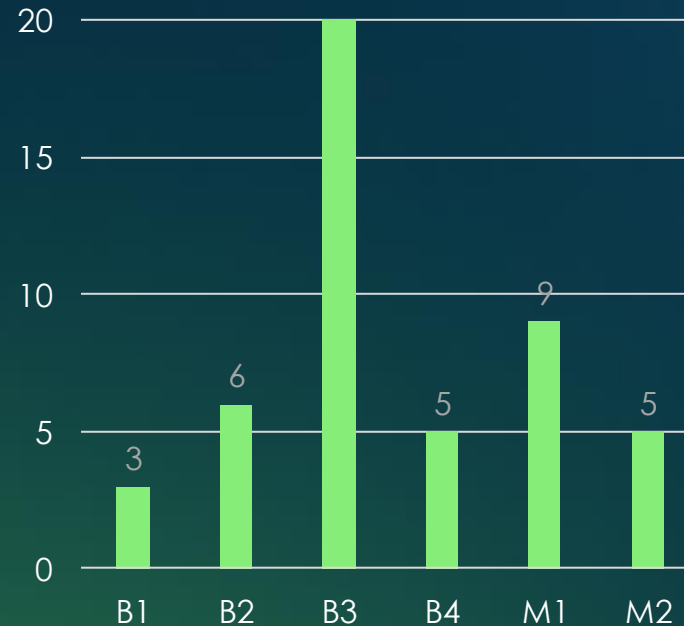
プログラム参加人数：50名（途中辞退者：20名）

インターン協力企業数：13社

大学別参加学生数



学年別参加学生数



株式会社JSOL

エクシオ・デジタルソリューションズ株式会社

富士通株式会社

株式会社Blueship

株式会社NTTデータ

株式会社日立ソリューションズ株式会社

日本電気株式会社（NEC）

DXC Technology

アオラノウ株式会社

藤沢市

キンドリルジャパン株式会社

東広島市

りそなホールディングス

*順不同、敬称略

実施カリキュラム・習得レベル



**Application
Developer**



**Technical Project
Manager**



**System
Administrator**



2025 Academic program 全体スケジュール

2024年11月	2025年3月-4月	2025年5月-7月	2025年8月-9月
募集開始	春休み <ul style="list-style-type: none">IT/DX入門(録画視聴)ServiceNow基礎(オンデマンド)3/8 アプリケーション開発のための理論武装ワークショップ(ライブ参加必須)	春学期 <ul style="list-style-type: none">週1で講師によるガイダンス、QAセッション開始(8割のライブ参加必須)アプリ開発の基礎(オンデマンド)5月: インターンシップ先企業からの内容紹介後に応募6月: インターン先確定	夏休み <ul style="list-style-type: none">8月上旬 3日間のアプリ開発ワークショップ(ライブ参加必須)インターン(5日単位最大30日選択可)
<div>87時間 の教育プログラム + 5日~30日 インターン</div>	31時間	35時間	21時間 + インターン

提供コースと学習内容

これ以外にもIT/DXの基礎、アプリ開発のための考え方などテクニカルコース以外のセッションも提供

ServiceNowって何？

ServiceNowの全体像を学ぶ

- ServiceNowって何？
- ServiceNow導入のメリット
- ServiceNowを導入するには？
- ServiceNowをもっと知るには

Welcome to ServiceNow

ServiceNowの基本機能、操作

- ServiceNow プラットフォーム概要
- 新しいUIの特長とアクセス方法
- データの一覧表示（リストとフィルター機能）
- データの登録UI（フォーム機能）
- タスク管理
- レポート作成機能
- ナレッジ管理
- サービスカタログ
- 仮想エージェント

ServiceNow Administration Fundamentals (CSA相当)

Now Platformの共通の機能詳細や運用管理、設定を演習とともに学ぶ

- 学習項目詳細は次ページ参照

Application Development Fundamentals (CAD相当)

Now Platformでのアプリ開発の基礎、手法、ツールを学ぶ

- 学習項目詳細は次ページ参照

ServiceNow Administration Fundamentals(SNAF)

- 概要

- ServiceNowのシステム管理者を目指す方に最適のコースです。
- 演習用インスタンスを利用して様々な管理機能や設定方法を学びます。

- 実施形態

- 日数：3日間
- 講義言語：日本語
- テキスト：日本語

- 対象者

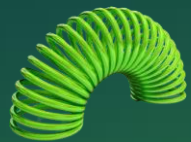
- ServiceNowの基本的な機能を学びたい方
- ServiceNowのシステム管理者として稼働し始める方

- 前提知識

- Welcome to ServiceNowオンデマンドコースを受講済み又は同等程度の知識を有すること

学習項目

- ServiceNow プラットフォームの特徴
- 各主要製品の特長
- アーキテクチャー
- プラットフォームの拡張性
- アプリケーションの構成
- タスクのライフサイクル管理
- UIの有効利用
- ペルソナについて
- ユーザー・グループと権限管理
- ポータル機能、ナレッジ管理などセルフサービス系機能について
- ワークフローの作成
- レポートの作成とダッシュボードへの追加
- 性能管理について
- Predictive Intelligence機能の紹介
- インスタンスの監視方法
- 障害発生時の対応の基礎
- アップグレードに関する情報管理
- データ管理のコンセプト
- データ構造の確認
- ServiceNowにおけるCMDBやCSDM
- 開発者向けの各種ツールの特徴



受講者の声

- ServiceNowの入門として適していると感じた。演習と解説がセットで分かりやすかった。
- ServiceNowのことを全く知らない状態からServiceNowのユースケースや基本的な使用方法を一通り体験し、理解することができた。
- ServiceNowの基本的な使い方について、段階を踏んで学ぶことができたため、自己流で手探りでやるよりは効率がよい。

Application Development Fundamentals(ADF)

- 概要

- ハンズオン演習を通じてNowプラットフォームでのアプリケーション構築時の考慮点を学びます。

- 実施形態

- 日数：3日間
- 講義言語：日本語
- テキスト：日本語

- 対象者

- ServiceNowインスタンス管理において1年以上の実務経験をお持ちの方。

- 前提知識

- CSA資格取得済み、または同等の知識をお持ちの方
- JavaScript（CodeAcademy、ドットインストール等のJavaScript入門コース完了程度）
- データベースの基礎知識

学習項目

- アプリケーション・テーブル設計：拡張すべきか新規作成か？
- ユーザー体験向上のためのフォーム、ビューの構築
- スクリプトを利用したビジネス・ロジックの管理
- モバイル・ユーザーに対する設計上の考慮点
- アプリケーションとレコードへのアクセス制御
- アプリケーション・メトリックスの取得
- ワークフローを利用したアプリケーション自動化
- 外部Webサービスとのインテグレーション
- アプリケーション・リポジトリの利用



受講者の声

- ServiceNow開発経験があったが、Studioを使った経験がなかったため、今回のトレーニングで最新の開発手法を学ぶことができた。
- ServiceNowの開発の基礎知識を身に着けることができた。もっと早いタイミングで受講すればよかったと思った。
- 今後の自社での開発に役立ちそうな知識がついた。

参加者アンケート(学生)

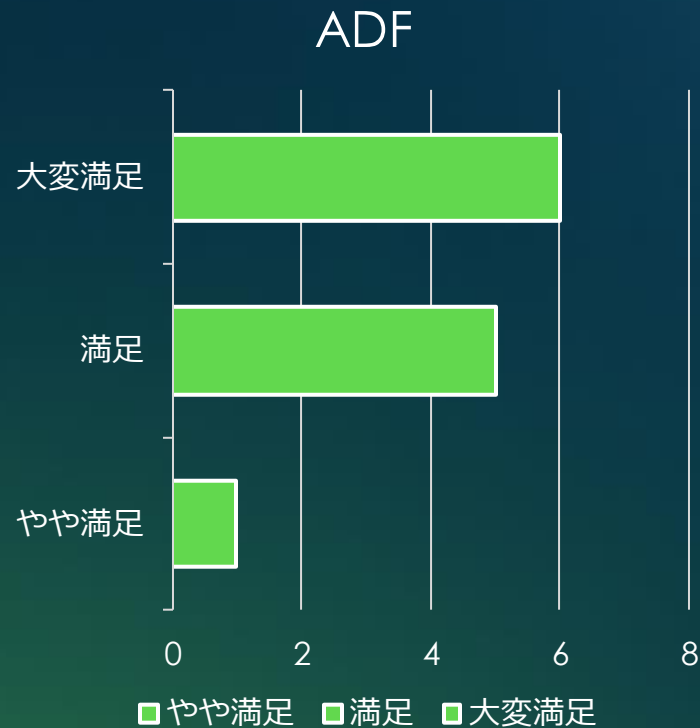
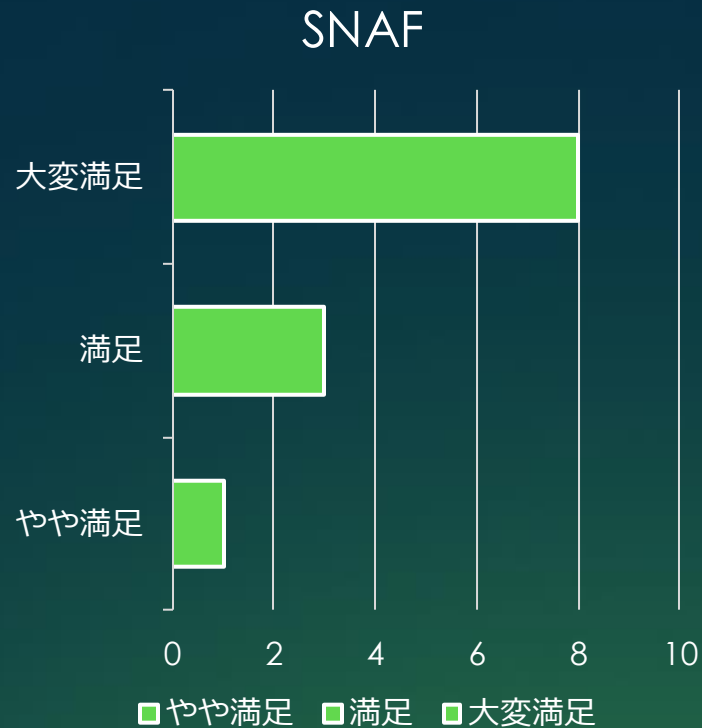


アンケート結果 (満足度)

ServiceNow Fundamentals
コースの満足度

Application Development
Fundamentals コースの満足度

このプログラムを他学生へ
ぜひ勧めたい、または勧めたい！



91%

アンケート結果 (インターン参加後の感想)

実際にServiceNowを使って働いている人々のリアルな体験を知ることができた。

ServiceNowの最新機能や活用事例を知り、企業がどのように活用しているかを学んだ。また、ServiceNowを用いてどのように収益を生むかについて理解が深まった。

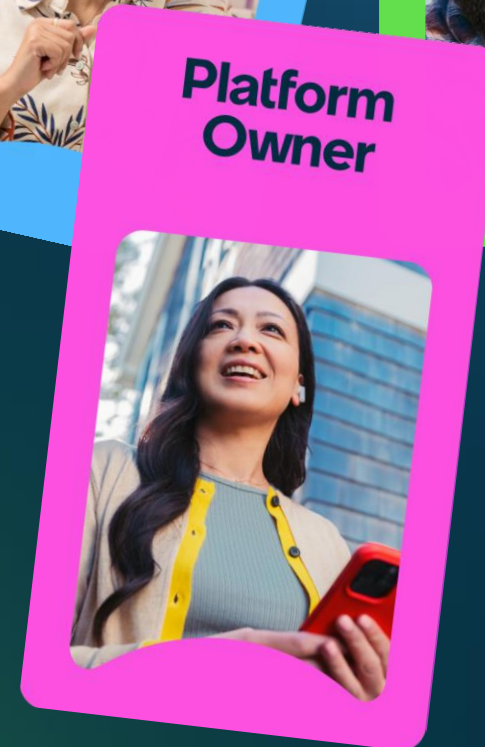
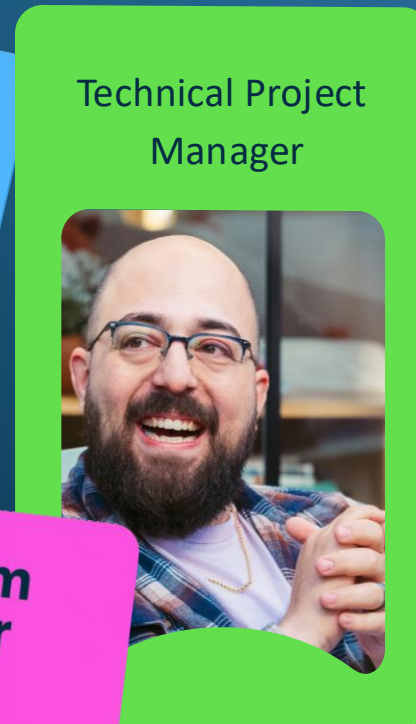
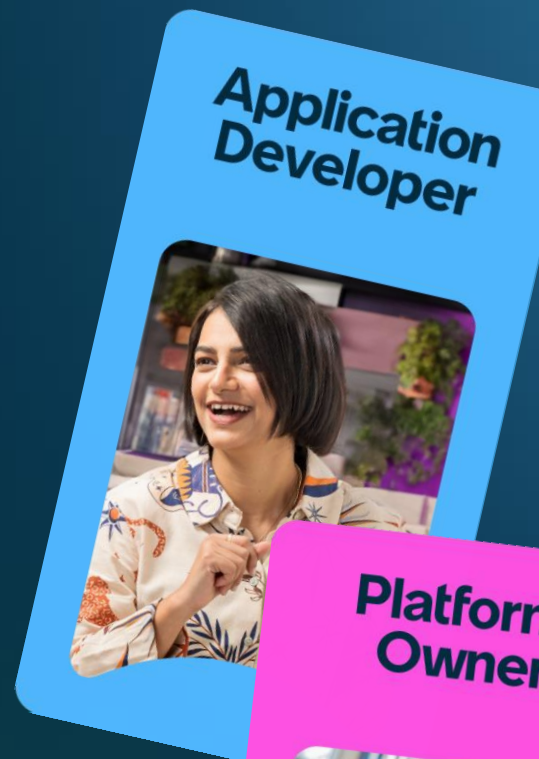
実務を通じて働くイメージが具体化され、自身のキャリアプランを詳細に考えるきっかけになった。

就職活動中の大学生にとって、興味のある企業でのインターンシップは貴重な経験であり、実務を通じて社会での働き方を学ぶことができた。

インターンを通じて学んだ知識をアウトプットする機会が得られ、設計や上流工程について学ぶことができた。

社員との協力や進捗共有を通じ、インシデント管理などの業務を経験することができた。また、社員一人あたりに対するインターン生への手厚いサポートが印象的だった。

インターン実施内容



インターン実施内容例

内容： 前半はITコンサルタントを想定したロールプレイ形式で、課題資料の分析から提案書作成・顧客ヒアリングを実施。後半はコールセンター業務の自動化をテーマに、ユーザー体験向上を目的としたワークフロー自動化ハンズオンを行いました。

成果： ロールプレイ・演習ともに実務理解が深まり、特に「課題の捉え方」「提案プロセス」を学ぶ良い機会となりました。最終発表はオンライン形式で実施し、満足度は非常に高い結果でした。

内容： 自治体業務のFAQ移行プロジェクトにメンターと共に参画。既存FAQの構造分析、移行方針の検討など、システム構築前の上流工程を中心に体験しました。

成果： 開発そのものよりも「要件定義」「現状把握」「改善提案」の重要性を理解する実践的な学びとなりました。実務プロセスの流れを把握する貴重な経験だったとの声がありました。

内容： 「社会課題の解決」をテーマに、学生が自ら課題を設定し、要件定義→設計→ServiceNow上での実装までをチームで担当。開発はアジャイル手法を採用し、メンターが伴走。最終日に成果発表会を実施しました。

成果： 実務さながらのプロセスを体験し、チームでの開発力と課題設定力を培う機会となりました。学生アンケートでも「一連の流れを通して理解が深まった」と高評価でした。

インターン実施内容例

内容： 実際のシステム保守・修正案件に参画し、担当者として現場の開発フローに沿って業務を遂行。

成果： 現場メンバーとしての役割と責任を体感し、報連相や品質管理など社会人基礎力の向上が見られました。短期間ながら実務経験に直結する内容として高く評価されました。

内容： AIを活用したリバースエンジニアリング関連プロジェクトなど、各自の選択テーマ（ServiceNow／Salesforce／SAP／AWSなど）に応じた部署に配属。社員指導のもと、実際にコード修正や検証を行い、最終日には成果発表を実施しました。

成果： 技術力だけでなく、課題解決に向けた考え方やチーム内での協働スキルを磨く機会となりました。学生からは「実務環境での学びが将来のキャリア形成に直結した」との声が寄せられました。

内容： 「入退館申請システム」を共通課題とし、各チームが追加機能やデザインを自由に企画・実装。オフサイトでの実習を交えながら、最終日はオンラインで成果発表を行いました。

成果： 学生の発想力が活かされ、「退館時間延長」など独自機能の提案や、UIデザイン改善など実用性を意識した取り組みが見られました。チームごとの個性が反映された完成度の高い成果となりました。

インターン企業様からの声



Application
Developer



Technical Project
Manager



Implementer



インターン受入後の感想(抜粋)

事前学習を経て基礎がしっかりしていたインターン開始時点からITやServiceNowの基本概念を理解しており、質問のレベルも非常に高かったです。事前に2つのコースを修了していたことで、開発環境への適応が早く、スムーズにプロジェクトに参加できました。

アプリ開発ワークショップの経験が実務理解に直結
ワークショップでグループ開発を経験していたため、要件整理から設計・実装までの流れをよく理解しており、実務でも自律的に進めることができました。開発プロセスへの理解度の高さが特に印象的でした。

チームとの協働に積極的で、雰囲気明るくしてくれた
他メンバーとのコミュニケーションが活発で、報連相も適切に行えていました。学生同士だけでなく、社員とも自然に意見交換ができる姿勢があり、チーム全体に良い刺激を与えてくれました

学びを実践につなげる吸収力が高い
コース受講とワークショップでの知識をしっかり土台にしながら、業務上の課題にも柔軟に対応していました。特にServiceNowのUI設定やフロー設計の理解が早く、短期間で実務レベルに到達していました。

課題解決に向けて粘り強く取り組む姿勢が印象的
途中でつまずいても、最後まで自力で考え抜き、必要に応じて助言を求めながら改善していく姿勢が見られました。実務で求められる「自走力」をすでに身につけつつあると感じます。

チームに新しい発想をもたらしてくれた
学生ならではの柔軟な発想で課題に取り組み、固定観念にとらわれない提案をしてくれました。ワークショップでの経験が生きており、開発における創造性と論理性のバランスが取れていました。

オンライン中心でも高い主体性を発揮
リモート環境でも進捗管理やコミュニケーションを怠らず、自らタスクを整理し報告していました。自己管理能力と責任感の高さは、社会人と比べても遜色ありませんでした。

受け入れ側の学びにもつながった
学生の積極的な姿勢と学びへの熱量が、社員のモチベーションにも良い影響を与えました。特にServiceNowを初めて扱う社員にとっても、学び直しのきっかけになったと感じています。

プログラム全体の質の高さを実感
事前学習＋ワークショップ＋インターンという流れが非常に効果的で、学生の理解度・応用力の両方が格段に向上していました。今後もこの仕組みを維持・発展させながら、次年度も受け入れを検討したいと思います。

Thank you

この度は、ServiceNowアカデミックプログラム2025に多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございました。

企業の皆様、自治体の皆様、そして大学関係者の皆様のお力添えにより、本年度も無事に全プログラムを完了することができました。

学生たちは、事前のオンライン学習やアプリ開発ワークショップを通じて実践的なスキルを身につけ、インターンシップを通じて社会での学びを確かな自信へとつなげることができました。

本プログラムが、産官学の連携による学びの循環を生み出し、学生と企業・自治体の皆様双方にとって有意義な機会となりましたことを心より感謝申し上げます。

今後も、より多くの学生が社会で活躍できるよう、内容の充実と連携の強化を図ってまいります。
引き続き、ご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

Thank you